

学力向上に向けた大阪市の取組



本市では、学力向上をはじめとする、「めざすべき目標像」に向けて大阪市の教育を進めていくため、「大阪市教育振興基本計画」を踏まえ、課題や成果を検証しながら取り組んでいます。ここでは、その代表的な取組を紹介します。

1 主体的・協働的な学びの推進	P 3 8
2 習熟度別少人数授業の実施	P 3 8
3 学習教材データの配信	P 3 9
4 大阪市小学校学力経年調査の実施	P 4 0
5 ICTを活用した教育の推進	P 4 0
学校図書館活性化事業の実施	
6 学校図書館活用推進事業の実施	P 4 1
7 理科教育の充実	P 4 1
8 英語イノベーション事業の実施	P 4 2
9 学力向上支援サポーターの配置	P 4 2
10 生活指導支援員の配置	P 4 3
11 校園内研修支援・OJT事業の実施	P 4 3
12 小中一貫した教育の推進	P 4 4
13 幼稚園・保育所・小学校の連携	P 4 5
14 学校元気アップ地域本部事業の実施	P 4 5
15 学校キャラバン隊の派遣	P 4 6

「めざすべき目標像」へ大阪市教育振興基本計画より▽
全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざします。
そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生などを踏まえ、子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備えるようにします。



「大阪市教育振興基本計画」

本市の教育改革の方針です。
詳しくは大阪市のホームページ
(下記 URL)をご覧ください。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000348914.html>

1 主体的・協働的な学びの推進

〔カリキュラム改革〕

「主体的・協働的な学びの推進モデル校事業」では、教科などの本質的な学びをふまえ、言語活動のさらなる充実としてのアクティブ・ラーニングの視点から、学習・指導方法の改善をめざし、モデル校を設置して、実践研究を進めています。
児童生徒が課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ授業づくりをめざします。

児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現
学校教育における質の高い学びを実現し、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」につなげます。

授業づくり研修会や研究協議会などの開催
モデル校において、公開授業を行い、参加型討議会や大学教授による講演などを通して、授業改善を推進します。

成果の共有と情報発信
モデル校における取組の成果や課題などをモデル校以外の学校でも共有できるよう、情報発信に努め、各校における主体的・協働的な学びの推進を図る授業づくりに活かします。



（担当） 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

2 習熟度別少人数授業の実施

〔カリキュラム改革〕

児童生徒一人一人の学習内容の理解度や技能の習得の程度など、個に応じて編成された少人数グループでの習熟度別少人数授業に取り組んでいます。
小学校3～6年生の国語・算数と中学校全学年の国語・数学・英語の授業で実施し、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に努めています。

「習熟度別少人数授業」では、学習の到達目標に照らし合わせて、その達成状況を把握し、児童生徒のつまづきやその原因などに応じて、個に応じたきめ細やかな指導に努めています。また、複数の教員が協力して授業を行うチームティーチング（T.T）や班ごとに分かれて行うグループ学習など、学校の課題や教科の特性に応じた、様々な指導方法による授業も実施しています。



「習熟度別少人数授業」を実施することで、児童生徒に基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付けさせるとともに、一人一人の発言の機会やじっくり考える機会を確保し、「できる喜び・わかる喜び」を実感させ、児童生徒の確かな学力の向上に努めています。

各小中学校で、教員1名を「習熟度別少人数授業コーディネーター」として位置付けて、児童生徒の実態把握、校内研修の推進、学習効果の検証などを行う役割を担っています。また、より効果的な実施を図るため、コーディネーターや授業担当者を対象とした研修も実施し、効果のあった取組例を広めたり、指導方法の改善について話し合ったりしています。



(担当) 指導部初等教育・中学校教育担当 TEL6208 - 9176・9199

3 学習教材データの配信

〔カリキュラム改革〕

「学力向上を図る学習支援事業」の一環として、平成26年10月より、全ての小学校・中学校などに、学習教材データの配信を行っています。児童生徒の実態に応じて選択したり編集したりした問題を、授業・放課後学習・家庭学習などで活用することにより、基礎学力や応用・発展・活用問題に対応する力の育成を図っています。

小学校には国語・社会・算数・理科、中学校には国語・社会・数学・理科・英語と、小学校の国語・社会・算数・理科の学習教材データを配信しています。

配信される学習教材データは、基礎的・基本的な問題はもとより、本市の課題である記述問題や活用問題（応用問題）が充実しており、繰り返しの練習や個に応じた学習などに活用できます。

今年度から、学年ごとに学習の総まとめができる学年末プリントも配信します。

各学校では、習熟度別少人数授業や家庭学習などあらゆる場面で活用方法を工夫し、学力の向上に努めています。

(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

4 大阪市小学校学力経年調査の実施

〔カリキュラム改革〕

本年度より、大阪市立の全小学校に通う小学校3年生から6年生までの児童を対象に「大阪市小学校学力経年調査」を実施します。毎年継続して実施することで、児童の学力などの伸びや成長、努力が必要なところが明らかになります。その結果をもとに家庭で話し合うことなどを通して、目標をもって学習や生活改善に取り組んでほしいと考えています。

また学校では、児童一人一人の学習理解度・学習状況などを把握し、授業改善や児童一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実に生かしていきます。

小学校3年生～6年生の全児童を対象に実施します。

平成29年1月11日～17日（土日を除く）で、学校ごとに実施日を決定します。

調査内容は国語、社会、算数、理科の教科に関する調査と児童質問紙調査です。

（担当） 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

5 ICTを活用した教育の推進

〔カリキュラム改革・グローバル化改革〕

全小中学校に基本40台のタブレット端末などのICT機器を整備し、タブレット端末などを活用した授業を全市で一斉に展開しています。

ICT機器の活用により、視覚的にわかりやすい授業を行うとともに、子どもたちが自ら考えたことを発表したり、グループやクラスで話し合ったりする学習を充実させ、「自分で考え判断する力」「自分の考えを豊かに伝える力」「最新のICT機器を活用する力」の育成を図ります。

児童生徒が教え合い学び合う協働的な学びを実現します。

思考力、判断力、表現力などにつながる言語活動の充実を図ります。

児童生徒一人一人の個に応じた学習の充実を推し進めていきます。

小中学校の教員を対象に研修を行い、教員のICT活用指導力の向上に取り組みます。

学習活動の中で教え合い学ぶ場面が増えます。

グループで話し合い学ぶ場面が増えます。



自分の考えを整理しまとめることができます。

（担当） 大阪市教育センター教育振興担当 指導研究グループ TEL6572 - 0272

6 学校図書館活性化事業の実施 学校図書館活用推進事業の実施

〔カリキュラム改革・学校サポート改革〕

児童生徒の読書活動を推進するための、使いやすく魅力ある学校図書館づくりを目指して、「学校図書館活性化事業」「学校図書館活用推進事業」を実施しています。
蔵書の充実を図るとともに、学校図書館補助員の配置やボランティアの協力により、開館回数の拡大、館内の環境整備や読み聞かせを実施するなど、様々な取組を進めています。

大阪市図書標準冊数（小学校 7,000 冊、中学校 8,000 冊）達成のための図書整備を行い、学校図書を充実させています。開館回数を増やすことで、児童生徒の学校図書館利用機会を増やし、調べ学習や読書の機会を増やしています。
平成 27 年 10 月から「学校図書館補助員」を各学校に週 1 回配置し、図書館の開館日増や整備に効果を挙げています。
学校図書館支援ボランティアに対し、講座の実施などの支援を行い、読み聞かせや本の修理などのスキルアップを図っています。



（担当） 中央図書館利用サービス担当学校図書館支援 TEL6539 - 3307

7 理科教育の充実

〔カリキュラム改革〕

小学校 5・6 年生を対象に理科補助員を配置し、理科の授業で行う観察・実験活動を充実させるとともに、企業や団体の技術者と連携した理科の特別授業を実施しています。また、本年度より、理科観察実験充実プロジェクトを展開し、観察や実験を取り入れた授業づくりを図る実践的研究会を開催しています。

理科補助員を配置し、観察・実験活動を充実させることにより、理科の授業に興味をもち、理科の楽しさを味わうことができる児童の育成をめざします。
企業・団体などによる観察・実験を取り入れた「理科特別授業」を行うことにより、児童の理科への関心を高めます。
理科の観察実験を充実させるため、本年度から研修会場となる拠点校を設置し、教員の観察実験の技能向上に向けた「理科観察実験充実プロジェクト」授業づくり研修会を開催しています。



理科特別授業



授業づくり研修会

（担当） 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

8 英語イノベーション事業の実施

〔カリキュラム改革・グローバル化改革〕

自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育成するため、ネイティブ・スピーカーを配置し、英語教育の強化を図る取組を行っています。

小学校低学年からの英語教育の推進

英語教育重点校において培ってきた指導法を基に、小中一貫した英語教育を全ての小学校で低学年より実施していきます。

児童生徒が生きた英語に触れる機会の増加

ネイティブ・スピーカーを各小中高等学校に配置しています。

小学生、中学生、高校生が集中的に英語を使うイベント「イングリッシュ・デイ」を実施しています。



(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9197

9 学力向上支援サポーターの配置

〔カリキュラム改革・学校サポート改革〕

児童生徒の学習意欲の向上と自主学習習慣の定着を図るため、授業や放課後及び長期休業中の補充学習などにおいて、教員と協働して児童生徒の学習支援にあたっています。また、学力向上支援サポーターは「学びサポーター」「学習サポーター」「理科補助員」の総称です。

学びサポーター

授業、朝の学習、放課後の学習支援、長期休業中の補習、自主学習の支援を行っています。

学習サポーター

「書くこと」「読むこと」などを中心に、国語科・算数科・数学科の学習支援を行っています。

理科補助員（再掲）

理科の授業時間を中心に、観察・実験などの実施の支援を行っています。



(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

10 生活指導支援員の配置

〔学校サポート改革〕

平成 26 年度より、いじめ・問題行動などに毅然とした対応をとるための体制を構築し、様々な課題を解決するために、警察官経験者や児童生徒の指導経験者を生活指導支援員として 80 名を小・中学校に配置しています。

本年度は、80 名の生活指導支援員を小学校 67 校、中学校 53 校の計 120 校に配置し、週 4 日または週 2 日、支援を行っています。

生活指導支援員は、学校組織の一員として教職員と協働し、以下の業務を行うことで学校を支援し、授業規律の定着を通して学力向上につなげています。

問題行動の発生時における児童生徒への指導や不登校児童生徒への対応

生活指導サポートセンターなどの関係機関との連携・調整

問題行動や不登校などの未然防止に向けた児童生徒及び保護者への指導・助言

児童生徒の問題行動や不登校などの課題に対して、学校組織の一員として、協働し解決にあたるなど



(担当) 指導部中学校教育担当 生活指導グループ TEL6208 - 9174

11 校園内研修支援・OJT 事業の実施

〔カリキュラム改革・グローバル化改革〕

平成 26・27 年度の「学び続ける教員サポート事業」の趣旨を踏襲し、小中学校の全ての教員が、年間 1 回以上の授業研究を伴う校内研修を実施することにより、若手、中堅、ベテラン教員が共に学び合う取組を行っています。

教育指導員が、全ての小中学校を 2～5 回訪問し、管理職、校内研修担当者、メンター（より経験を積んだ教員）及び若手教員グループに対し、校内研修の計画・立案・実施への支援や授業後の研究協議などでの指導助言を行います。大阪市の「授業研究を伴う校内研修の実施回数」は、小中学校ともに全国平均を大きく上回っており、校内での研修の高まりが見られます。

子どもの主体的な学びを重視した授業の実現に向け、全ての教員が共に学び合い、学び続けることで、学校のさらなる活性化をめざします。



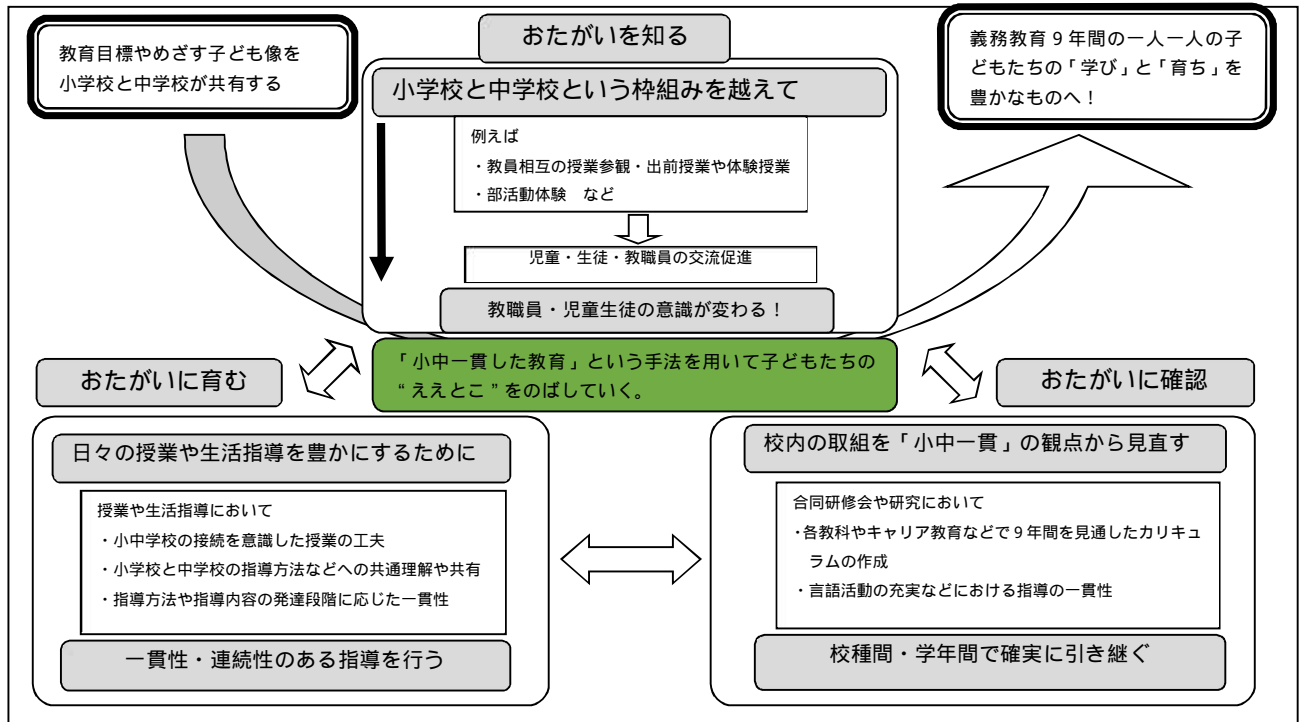
(担当) 教育センター教育振興担当 基本研修グループ TEL6572 - 0657

12 小中一貫した教育の推進

〔カリキュラム改革・グローバル化改革〕

全ての小中学校では、平成 22 年 3 月に策定した「大阪市小中連携推進プラン」に則り、学習指導要領に準拠した教育課程を 9 年間見通して編成するなど、学力向上、体力向上、健全育成などを柱に小中一貫した教育に取り組んでいます。

小中一貫した教育推進のポイント（リーフレットより）



< 施設一体型小中一貫校を設置しています >

やたなか小中一貫校

小中一貫校 むくのき学園

いまみや小中一貫校

日本橋中学校区小中一貫校（平成29年 4 月開校予定）

南港南中学校区小中一貫校（平成30年 4 月開校予定）

施設一体型小中一貫校で推進されている小中一貫した教育の成果を、全市の小中学校へ広めます

（担当） 教育センターカリキュラム改革推進担当 TEL6572 - 0582

13 幼稚園・保育所・小学校の連携

〔カリキュラム改革〕

就学前教育では、規範意識や基本的な生活習慣、言語及び数を含む概念、運動意欲や体を動かす力など「知・徳・体」をバランスよく育ていけるよう取り組んでいます。

平成 25・26 年度に、市立幼稚園、保育所、小学校、私立幼稚園の代表者、教育委員会事務局、こども青少年局による大阪市幼保合同研究協議会を立ち上げ、「就学前教育カリキュラム」を策定し、平成 27 年度より全ての市立幼稚園と公立保育所にて、本カリキュラムに基づいた実践を行っています。

「『知・徳・体』をバランスよく育む」「指導者の教育的意図をもった働きかけを明確にする」とともに、「子どもを取り巻くすべての大人に必要な配慮」について、昨年度作成の概要版などを活用して、保護者などにも啓発及び周知を図っています。

本年度は、本カリキュラムを踏まえた実践及び研究に取り組む「パイロット園所」を指定し、その取組を全市に向けて発信していきます。また、市内全ての就学前施設の教職員対象研修会も継続実施し、本カリキュラムの周知及び推進していきます。



「就学前教育カリキュラム」概要版
(H27.10 作成)

(担当) 指導部初等教育担当 幼稚園教育グループ TEL6208 - 8173

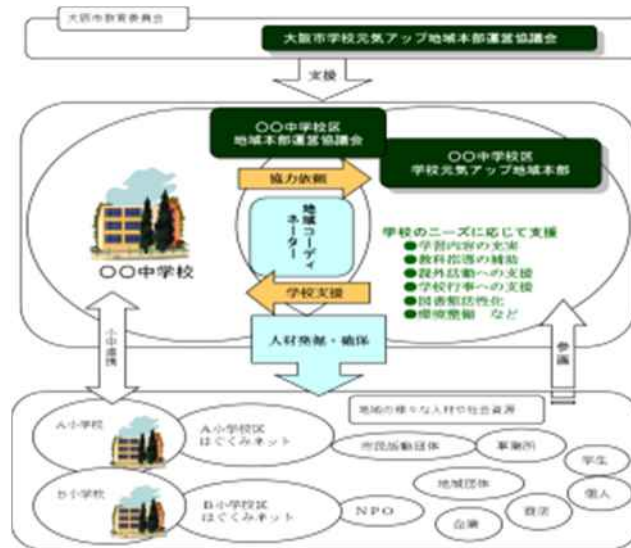
14 学校元気アップ地域本部事業の実施

〔ガバナンス改革・学校サポート改革〕

保護者や地域の方々による学校教育活動のサポートを一層充実させるために、学校・家庭・地域が連携した教育コミュニティづくりを進めています。

全中学校区において、地域の方々の協力を得ながら、地域社会全体で子どもを育てる仕組みとして「学校元気アップ地域本部」を設置し、生徒の生活習慣の確立や学力向上などの課題解消に向け、各学校のニーズに応じた取組を行っています。

事業イメージ



生徒の学習支援にご協力をお願いします

(担当) 指導部教育活動支援担当 TEL6208 - 9171

15 学校キャラバン隊の派遣

〔学校サポート改革〕

平成 20 年度より、幼稚園・小学校を中心に教育委員会の指導主事チームを派遣し、「子どもの生きる力をはぐくむ家庭のちから」をテーマに、保護者や地域住民、教職員との懇談会を開催しています。

子どもの生きる力の育成には、基本的な生活習慣（「早寝、早起き、朝ごはん」など）の確立、学習環境の整備、自尊感情の育成などが大切であることを保護者に啓発しています。平成 26 年度からは、携帯電話・ゲーム機の使い方や問題点についても話題に取り上げています。

今後も学校キャラバン隊を派遣し、啓発活動に取り組みます。

参加者の声

- ・生活リズムや、学習環境を整えること、家庭内のルールの確立、ほめながら子育てしていく大切さがよくわかりました。
- ・わかっているつもりでも、ついつい後まわしになってしまっていたと気づかされました。声かけ、コミュニケーション、がんばっていきます。
- ・今日からすぐに取り組んで、親子関係をしっかり築いていきたいと思えます。

(担当) 指導部教育活動支援担当 TEL6208 - 8128

効果があった取組例の情報提供にご協力いただいた学校

- ・加美東小学校
- ・長吉南小学校
- ・瓜破東小学校
- ・南港光小学校
- ・敷津浦小学校
- ・清江小学校
- ・本田小学校
- ・伝法小学校
- ・佃西小学校
- ・野里小学校
- ・大宮西小学校
- ・三先小学校
- ・橘小学校
- ・苗代小学校
- ・鷺洲小学校
- ・深江小学校
- ・八阪中学校
- ・港南中学校
- ・市岡中学校
- ・本庄中学校
- ・長吉六反中学校
- ・矢田中学校
- ・夕陽丘中学校
- など

《問合せ先》

カリキュラム改革推進室

・指導部

教育活動支援担当（学力向上・英語教育） 6208 9039

・大阪市教育センター

教育振興担当（指導研究） 6572 0667

カリキュラム改革推進担当 6572 0582